



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社

コード番号 2750

URL <http://www.ishimitsu.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石脇 智広

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部門長

(氏名) 吉川 宗利 (TEL) 078-861-7791(代表)

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,304	△3.4	48	△49.7	44	△58.6	28	△61.3
2019年3月期第1四半期	9,631	2.8	96	—	106	—	73	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △57百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.67	—
2019年3月期第1四半期	9.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	22,593	8,473	36.5
2019年3月期	21,922	8,599	38.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,255百万円 2019年3月期 8,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,449	1.8	203	5.9	184	△14.5	125	△17.8	16.32
通期	40,105	4.0	646	12.7	615	4.0	394	△4.6	51.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,000,000株	2019年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	291,991株	2019年3月期	291,991株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	7,708,009株	2019年3月期1Q	7,708,011株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまで好調を維持してきた企業収益に陰りが見られ始めているとの報道があるものの、堅調な雇用・所得環境の下支えにより、概ね横ばいで推移しているもようです。

一方、海外に関しては、米中貿易摩擦や中国経済の景気減速、欧州における不安定な政治動向、中東及びアジア地域での地政学的リスクの高まり等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界は、総菜等の中食市場の拡大や外食産業における客単価の上昇は見られるものの、引き続き労働力不足と物流費の上昇等により厳しい経営環境が続いております。

為替相場は、期初より111円台で推移しておりましたが、米中の貿易摩擦の影響等により6月末では107円台まで円高が進行しました。

コーヒー業界におきましては、コーヒー相場は期初の1ポンドあたり94.50セントからスタートし、主要生産国での天候不順による生産量への影響が懸念され、徐々に上昇し6月末では109.45セントとなりました。

このような状況のなか、当社グループは新たに策定した中期経営計画「Iプロジェクト」達成に向け、開始初年度である当連結会計年度は、ミッション「世界の食の幸せに貢献する」を掲げ、財務の健全化、人材の強化に加えて経済的価値と社会的価値の両立を目指し、社会、お客様、社員、株主等のステークホルダーズから必要とされ続ける会社になるべくそのための仕組みづくりを行っております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は9,304百万円(前年同期比3.4%減少)、売上総利益は1,343百万円(前年同期比1.7%増加)、販売費及び一般管理費で、人件費及び物流費の増加に加えて貸倒引当金繰入を計上したことにより営業利益は48百万円(前年同期比49.7%減少)、経常利益は44百万円(前年同期比58.6%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は28百万円(前年同期比61.3%減少)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。なお、当連結会計年度期首より組織変更を行ったため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① コーヒー・飲料部門

1) コーヒー飲料原料

コーヒー生豆は、プレミアム品において積極的に販売に取り組み量的には増加いたしました。前年同期比の相場下落の影響及び一般品で価格競争を避けたことにより販売が大きく減少し、売上高は減少いたしました。

茶類は、紅茶原料において、海外生産国の政治事情や品質事情に伴う安定供給懸念の影響により、国内メーカー向け販売の不振が継続いたしました。

その結果、コーヒー飲料原料の売上高は前年同期比16.1%減少いたしました。

2) コーヒー飲料製品

レギュラーコーヒーは、大手得意先向けのコーヒーバッグの販売が順調に推移し、また、外食チェーンに新規採用されたことにより増加いたしました。しかしながら、ペットボトルコーヒーの終売、インスタントコーヒーの販売時期がずれたこと等による減少もありました。

その結果、コーヒー飲料製品の売上高は前年同期比1.6%増加いたしました。

これらの理由により、コーヒー・飲料部門の売上高は2,842百万円と前年同期比9.7%の減少となり、売上総利益も485百万円と前年同期比4.9%の減少となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

ドライ商品は、フルーツ・野菜の缶詰類が引き続き、ボランティア・チェーンへの販売が順調に推移し、製菓ルートへの販売強化にも継続して取り組みました。また、注力している低価格志向マーケット対応のトルコ産パスタ及びスペイン産オリーブオイルの販売が順調に推移し、売上高は前年同期比4.4%増加いたしました。

フローズン商品は、飲料メーカー向けに果汁原料の販売が新規採用される等により販売が順調に推移し、大手カフェチェーン向けのブラッドオレンジジュースも引き続き販売が順調に推移し、売上高は前年同期比22.9%増加いたしました。

メーカー商品は、新規帳合先の獲得等により、売上高は前年同期比3.5%増加いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比6.5%増加いたしました。

2) 水産及び調理冷食

水産は、主力商品のエビが外食産業向けに新規採用される等により販売が順調に推移いたしました。一方でイカ・タコは原料価格が高値で推移している影響や他社との販売競争の激化により、販売が減少いたしました。

調理冷食は、有力外食チェーンの定番メニューに採用されたことにより鶏肉加工品の販売は順調に推移いたしました。鶏肉原料は相場高騰の影響を受け販売が減少いたしました。

その結果、水産及び調理冷食の売上高は前年同期比0.1%の微減となりました。

3) 農産

輸入生鮮野菜は、国産の人参が豊作であったことに伴い、人参の販売が減少いたしました。食品メーカー向けに剥き玉葱の販売が順調に推移いたしました。

農産加工品は、コンビニエンスストア向けの冷凍筍及び外食産業向けの味付け蓮根の販売が減少いたしました。

その結果、農産の売上高は前年同期比11.6%減少いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は5,671百万円と前年同期比0.6%の微減となり、売上総利益は738百万円と前年同期比2.5%の増加となりました。

③ 海外事業部門

競合の影響により左右されることはありましたが、特色ある商品を掲げ輸出事業を推進し、特に当社企画による缶コーヒーの台湾向け初出荷があり、また長年取り組んでいる酒類輸出も増加いたしました。加えて、海外子会社の売上高増加及び利益改善が貢献いたしました。

その結果、海外事業部門の売上高は791百万円と前年同期比1.9%の増加となり、売上総利益は119百万円と前年同期比31.5%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ671百万円増加の22,593百万円となりました。これは主に現預金204百万円、棚卸資産160百万円及び固定資産252百万円の増加によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ797百万円増加の14,120百万円となりました。これは主に借入金613百万円及び仕入債務165百万円の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ126百万円減少の8,473百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円の増加に対し、配当金の支払い92百万円及び繰延ヘッジ損益の減少59百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,999,788	3,204,367
受取手形及び売掛金	7,239,445	7,198,629
商品及び製品	3,989,273	4,124,961
未着商品	855,163	880,847
仕掛品	16,088	7,079
原材料及び貯蔵品	64,722	72,912
その他	406,620	504,667
貸倒引当金	△2,858	△7,072
流動資産合計	15,568,242	15,986,394
固定資産		
有形固定資産	2,586,330	2,831,445
無形固定資産	257,118	238,994
投資その他の資産		
投資有価証券	3,236,790	3,207,905
その他	317,295	391,048
貸倒引当金	△43,596	△62,585
投資その他の資産合計	3,510,489	3,536,368
固定資産合計	6,353,938	6,606,808
資産合計	21,922,180	22,593,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,967,699	4,133,547
短期借入金	2,237,500	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,570,256	1,812,156
未払法人税等	142,977	15,907
賞与引当金	183,854	121,051
その他	1,560,444	1,812,640
流動負債合計	9,662,733	9,495,302
固定負債		
長期借入金	2,988,720	3,998,006
退職給付に係る負債	108,468	112,551
その他	562,668	514,251
固定負債合計	3,659,857	4,624,808
負債合計	13,322,590	14,120,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,674	357,674
利益剰余金	7,359,040	7,294,854
自己株式	△107,540	△107,540
株主資本合計	8,232,375	8,168,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,779	125,261
繰延ヘッジ損益	1,046	△58,765
為替換算調整勘定	19,692	20,618
その他の包括利益累計額合計	166,518	87,115
非支配株主持分	200,696	217,788
純資産合計	8,599,590	8,473,092
負債純資産合計	21,922,180	22,593,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,631,467	9,304,921
売上原価	8,309,998	7,961,347
売上総利益	1,321,469	1,343,573
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	237,790	245,898
貸倒引当金繰入額	125	23,802
報酬及び給料手当	298,288	316,245
賞与引当金繰入額	85,934	101,010
その他	602,779	608,049
販売費及び一般管理費合計	1,224,918	1,295,007
営業利益	96,550	48,566
営業外収益		
受取利息	1,312	897
受取配当金	2,123	1,976
持分法による投資利益	14,893	—
受取賃貸料	5,310	4,560
その他	14,621	17,736
営業外収益合計	38,260	25,170
営業外費用		
支払利息	18,503	16,002
持分法による投資損失	—	7,433
その他	9,743	6,151
営業外費用合計	28,247	29,588
経常利益	106,564	44,149
特別利益		
投資有価証券売却益	891	—
特別利益合計	891	—
特別損失		
固定資産除却損	45	—
特別損失合計	45	—
税金等調整前四半期純利益	107,410	44,149
法人税、住民税及び事業税	7,395	6,368
法人税等調整額	26,752	14,281
法人税等合計	34,147	20,650
四半期純利益	73,262	23,499
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	158	△4,810
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,104	28,309

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	73,262	23,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,189	△7,287
繰延ヘッジ損益	94,351	△59,812
為替換算調整勘定	941	△963
持分法適用会社に対する持分相当額	3,461	△12,592
その他の包括利益合計	111,943	△80,655
四半期包括利益	185,206	△57,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,048	△51,093
非支配株主に係る四半期包括利益	158	△6,062

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。